

微に入り細を穿つ

夏休みに勉強の量と質についてお話をしましたが、今回は質にさらにフォーカスしてみよう。以下の5つの項目について、皆さんで振り返ってみてください。

- ・ノートに日付や単元名、問題番号などを整理して書いている
- ・2～3種類の色ペンを有効に使い、重要な語やポイントを見やすくまとめている
- ・図形やグラフ等はスペースに余裕をもって、適度に大きく描いている
- ・間違えた問題は消さずに残し、問題のポイントや必要な知識などを書いている
- ・授業中、ノートをとりながら先生の話にも耳も傾け、重要そうな話は書いている

もちろん、これらを実行しているから必ず成績が上がるわけではありませんし、最終的には、自分に合ったやり方を見つけられるのがベストです。ただし、現状思うように学習できておらず、何から変えればよいかわからないという人は、こういふところから意識してみるのはいかがでしょうか。〔酒井昂佑〕

12月・1月のおもなスケジュール		
12/30	木	年末年始絶対合格合宿① やる気UPコンサート
31~1/2		【完全休室】
3	月	年末年始絶対合格合宿②
8	土	冬期公開テスト（小4～中2）
9	日	中3公開テスト【会場受験】 自習室開室（12:00～18:00）
10	月	成人の日【授業あり】・3学期授業開始
15	土	中3入試突破ゼミ（月3回）
16	日	自習室開室（12:00～18:00） 新中1進学説明会
22	土	中3入試突破ゼミ（月3回）
23	日	自習室開室（12:00～18:00） 中3合格祈願
29	土	中3入試突破ゼミ（月3回） 入試直前中3保護者会・数学検定
30	日	自習室開室（12:00～18:00）

多様化と寛容化

街を歩いているといろいろな制服を着ている中高生を見かけます。これまで、女子はスカート・男子はズボンが定番でしたが、近年では男女問わずスカートとズボンを選べる学校も増えています。制服だけではなく、ファッション・飲食・政治など様々な分野で多様化が主流となっています。しかし、日本で多様化が定着するのは他国ほど簡単ではないでしょう。なぜなら、日本において多様化は寛容化とセットだからです。「ひとと違う」「わたしと違う」が受け入れられにくい土壌が育っている日本では、土づくりから始めないといけません。これにはまだまだ時間がかかるでしょう。なにせ土づくりが必要な畑ほど面積が広いのですから。〔金子祐太〕



全国学習塾協会から表彰状を頂きました。これは、大谷がMVPを獲得した快挙…なのかも？

11月の“自習王”決定！

★中学生の部
中3 嶋津楓稀 **125.7 時間**
★高校生の部
高3 澤 大成 **96.0 時間**

欲求不満の快楽

手に入りそうで手に入らない。欲求不満はある種の快楽だと思う。欲しいのにあえて我慢して手を伸ばさないことがある。ショーウィンドウに飾られた靴を眺めて、想いを反芻させ快楽にまどろむ。しかしそんなものは、欲しいという想いが長続きさせているだけだ。自分で手を伸ばして触って、初めて感じるものがあるはずだ。受験まであと少し。手を伸ばして合格をものにしましょう。〔原田夏花〕

1月分
学費の振替
12月27日
(月)

年末のお忙しい時期となっておりますが、ご申請いただいておりますお振替口座のご確認をお願いいたします。金額の詳細につきましては明細をご確認ください。

今年も、フェアに戦います！

コロナ禍という長いなが～いトンネルも、ようやく出口の光がうっすらと見えてきました。この2年間は、つらいことも多かったと思いますが、反面この危機的状況の中で、私たちはたくさんの「学び」を得ることができたのではないかと考えています。

人間は、普段日常では感情を表面に出さない生き物ですが、ひとたび自分が追い込まれた状況に陥ると、その本性をむき出しにするものであると言われています。災害や事故などの危機に見舞われたとき、自己中心に振る舞うか、それとも利他的行動に出るか…。

この長いコロナ禍では、多くの企業や個人がどさくさに紛れて火事場泥棒のように不正を行ったり人を欺いたりする事件があつとを絶たず、教育という大切なミッションを担う、この地域のいくつかの学習塾でも、正しくない行為で生徒たちを裏切っていることも、悲しいかな事実のようです。

つらくて追い込まれた時に人に優しくなれる力こそ、真の「人間力」です。優しさは、強さの現れです。その強さは、偽りや誇張などの誤ったするいやり方で培われるものではありません。

私たち特進館学院の教育の原点は、「正しくフェアに生きること」。だから、アンフェアとは徹底的に戦います。これからも、「子どもたちの夢をかなえる進学塾」として、ずっと歩み続けたいから…。〔北村昌弘〕



代表北村の独り言

久しぶりに大阪に出たら街はものすごい人の数。なのに、感染者は大幅減。自粛・人流抑制とか毎日叫んでいたのはいったい何だったのでしょうか？

編集後記

少し前までは年末年始といえば「年賀状」…でしたが、最近は定番ではなくなりましたね。高齢を理由にやめられる方、SNSなどで代用できるから必要としない方。また、個人情報保護の観点から、職場でも名簿のようなものは公開されず、上司同僚への送付も必須ではなくなったところが多いようです。私はまだ年賀状文化の中におりますが、年々送付先が減っています。やめてしまえば楽だと思いつつ、年賀状が近況報告のツールとなっている相手もあり、やめ時を考えるのもなかなか難しいものです。